

**平成30年度小国地域ふるさと創生基金事業提案
地域委員からのキーワード（意見）**

キーワード	内 容
・後継者の育成	・小国町の主産業の米作りの従事者が70歳以上の方が主体になっていますが、その人達が出来なくなった時に続く人が見えてこない。町内の各、生産組合、大規模個人事業者と一体となってやれたら良いのでは。若い人が一番良いですが、難しい所もあり、定年近い方、または定年後の方に（未経験者でも）あるいは町外、県外にインターネットで動画配信したり、町のイベント（カントリートレイル、もちひと祭り、おぐに秋まつりなど）の際に情報を発信し、体験ツアー等で（各団体で行っているかもしれない）農業に興味を持ってもらい、小国地域の良さを知って、定住につながれば。結果がすぐに出ることが望ましいが、長い目で（5、10年先）考えたらどうか。
・空き家の利用	・少子高齢化を防ぐためにも、少しでも人口を増やすためにも、父子家庭、母子家庭の人達に小国地域にある空き家に入ってもらってはどうか。
・「道しるべ」の活用	・平成29年度小国いきいきプロジェクトで作成した「道しるべ」をつかった事業
・雪の利活用	・雪を保存し、もちひと祭りやトレラン、森林公園でのイベントで活用する。
・人材育成事業	・イベント事へのリーダーになる人の育成など
・小国中学校の地域貢献活動（おぐにカンパニー）	
・新たなトレランのコース設置、情報発信	・新規のトレランのコースの設置・整備を行い、大会の開催・情報発信等により小国地域をトレランの聖地にし、ランナーが集う地域への取り組み。チームおぐにへの継続助成。 ・山林資源の活用、小国地域の活性化を図る。
・小国小学校の「しづみ太鼓」の取り組みに対しての助成	・小国小学校PTAに対して助成を行う。小学生の「しづみ太鼓」の練習、地域イベントでの演奏、地域外への演奏活動をPTA及び地域で支援を行い、子どもたちの情操教育、おぐに地域活性化、おぐにの情報発信の向上を図ることへの助成を行う。 ・和太鼓の専門家による指導
・空き家に対してのガイドブックの作製、啓蒙活動	・利活用できる空き家の情報発信 空き家バンク制度の活用 ・国、県、長岡市の取り組みについて具体的にわかりやすく案内（法に定義される「空家等」及び「特定空家等」、「長岡市空き家等の適正管理に関する条例」、助成制度について） ・過疎化が進み放置された空家対策（集落自治会との連携、所有者に対しての管理の啓蒙活動）
・「男の料理」	・コミセンで実施されている「男の料理」を一つのイベントにし、いろいろな分野と組み合わせることで、地域づくりに発展させる （例：子どものすきなものをつくる、夫婦でつくる）
・婚活事業	・事前に講師をお呼びして、身だしなみや心構えなど、数回トレーニングを参加者に受けていただいてから婚活に参加してもらう。

平成30年度 事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
1 負担金	1,790,000	長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会負担金
2 協賛金		
合 計	1,790,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
1 実行委員謝金	30,000	実行委員会実行委員謝礼 3,000円×5人×2回
2 需用費	50,000	事務用品費、印刷製本費(ふるさとづくり通信 2,100部×2面×@6×1.08)
小 計	80,000	
小国のおもてなし料理研究事業		
1 報償費	90,000	講師謝金@30,000円×3回
2 需用費	55,000	チラシ印刷、食材購入費、その他消耗品 等
3 役務費	2,000	振込手数料@1,000円×2回
4 委託料	16,000	マイクロバス運転委託料@1,600円×10時間
5 使用料	37,000	マイクロバス借上げ料@37,000円×1回
小 計	200,000	
道しるべ普及啓発事業		
1 報償費	24,000	講演会講師謝金@20,000円×1人×1回=20,000円 体験者事例発表謝礼@2,000円×2人×1回=4,000円
2 需用費	267,000	印刷製本費 増刷分(料金表改定等含む) @204円×500部×1.08=110,160円 ダイジェスト版 {@81,500円(2500部)+@2円×2500部+@20円× 2500部}×1.08=147,420円 事務用品費 @9,000円
3 役務費	17,000	通信費 @140円×47事業所=6,580円 @82円×47事業所×2(返信用)=7,708円 振込手数料 @2,000円
小 計	308,000	
小国の魅力再発見事業「オーイ発見!おぐにの旅 PARTⅢ」		
1 役務費	1,000	振込手数料
2 委託料	500,000	業務委託料 @500,000円×1回
小 計	501,000	
もっと ² 小国もりあげ隊事業		
1 役務費	1,000	振込手数料
2 委託料	700,000	業務委託料 @700,000円×1回
小 計	701,000	
合 計	1,790,000	

平成30年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	小国のもてなし料理研究事業
事業主体	小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会 (おぐに結城野の会他)
事業の目的・内容	<p>【目的】 おぐにカントリートレイル大会の前夜祭として、地元小国地域のおもてなし料理を提供した交流会が好評である。今後も、中山間地域の振興活動の場面でも、小国地域の魅力のひとつである地元のもてなし料理の活用が見込まれる。また、もてなし料理のなかの伝承料理については、ふるさとの味として次世代への継承を図りたい。</p> <p>【内容】 他地域に視察に出掛け、もてなし料理を学び視野を広げたり、料理の専門家を招へいし、山菜をメインとした天ぷらや煮物、赤飯、寿司などのご飯類に関して、揚げ方・味付け・炊き方などのコツと彩、盛り付けなどの基本を学ぶことにより、技術の向上を目指す。</p>
事業の実施による効果	<p>他地域のもてなし料理を視察したり、調理の専門家から技術指導を得て、おもてなし料理や昔ながらの伝承料理の味を検証し、学習することにより小国のおもてなし料理の底上げと、ふるさとの味を守るとともに次世代への継承が期待できる。</p> <p>今回習得した技術を、今後地域に波及させることにより、地域の市民力の向上が図られる。</p>
実施スケジュール	<p>料理の専門家を招へいしての研究会、視察研修会</p> <p>5月：料理研究会 7月：料理研究会 9月：視察研修会 11月：料理研究会</p>
担当課・担当者	小国支所地域振興課 渡辺 茂

平成30年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	道しるべ普及啓発事業
事業主体	小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会 (包括支援センターこしじ・おぐに)
事業の目的・内容	<p>【目的】</p> <p>小国地域の住民が、小国地域において、いつまでも健康で安心して暮らすことができるよう、介護保険制度・介護予防の更なる普及啓発に住民・関係機関と協働で取り組む。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護に係る講演会、体験事例発表会 1回 2 道しるべの増刷(500部)、ダイジェスト版の発行(全戸配布) 3 冊子・ダイジェスト版を使った地域説明会(随時) 4 事例検討会(随時)
事業の実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイジェスト版を発行し、制度や活用方法の周知が更に図られ、住民の理解が進む。 ・住民にとって、いざという時の対処方法が学べる。 ・地域説明会により、地域の顔が見え、住民や関係機関とネットワークが広がる。
実施スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 介護に係る講演会 11月頃実施 2 道しるべの増刷、ダイジェスト版の発行 10月発行予定 3 地域説明会は希望等により随時実施するが、ダイジェスト版発行後は周知を強化する。 4 必要に応じて、事例検討会を開催する。
担当課・担当者	市民生活課 渡辺 鉄也

平成30年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	小国の魅力再発見事業「オーイ発見！おぐにの旅 PARTⅢ」
事業主体	小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会 (小国観光協会よっていがんかい)
事業の目的・内容	<p>【目的】</p> <p>小国地域の魅力発信で集客を増やし、地域の活性化を図るにはボランティアガイド育成と活躍機会の創出が急務である。ついては事業を拡大し、「オーイ発見！小国の旅 PARTⅢ」を実施する。中学生の地域貢献活動と連携し、幅広い活動を行い地域一体となり、地域活性化及び集客に寄与することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小国を写そう 小国写真展（5月～11月） 「おぐに写真コンテスト」を開催 2. 小国巡り 「おぐにかかしまつり」に合わせ地域探訪ツアーの開催 3. 観光ボランティアガイドの育成
事業の実施による効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小国には四季を通じ、未知の宝がたくさんある。これらを掘り起こし、内外に発信し地域の活性化につなげる。 2. 「小国写真コンテスト」は四季を通じ小国へ訪れることで結果的に他地域への情報発信となることが判った。応募者の家族・知人からも一緒に小国へ訪れてもらい、コンテストを情報発信のアイテムとした集客を図る。 3. 「小国巡り」は小国の魅力発信のために、多くの人から小国へ足を運んでもらわなくてはならない。「おぐにかかしまつり」を楽しみにしている客も多く、当まつりに合わせツアーを開催することで、ファンの獲得が望まれる。 4. ボランティアガイドの要請も増えてきているが後継者不足が懸念される。小国中学校の社会貢献活動として取り組みが可能ということで、観光協会が核となり新たな中学生ガイドの育成で、目線を変えた魅力発信に大いに期待できる。
実施スケジュール	<p>1月中旬 「小国写真コンテスト」企画検討開始</p> <p>4月～9月末 「小国写真コンテスト」写真募集</p> <p>4月 ボランティアガイドグッズの検討・発注</p> <p>8月 「小国巡り」ツアーの開催</p> <p>11月3日 「おぐにを写そう」写真展、秋まつりにて</p>
担当課・担当者	産業建設課 奈良場 勝

平成30年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	もっと ² 小国盛りあげ隊事業
事業主体	小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会 (チーム・おぐに)
事業の目的・内容	<p>【目的】 今年の越後カントリートレイル(以下ECT)は国内外のランナー767人が初夏の小国地域を駆け抜けました。アジアトレイルマスターズカップとして、小国地域でのレースの定着を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 未舗装の荒れたロードを好んで走るECT。「泥んこ」に「急傾斜」であればある程「テンション高め」のランナーからの要望と自集落も是非コースに組み入れてほしいという、地域住民からの要望に応え法末から太郎丸地区などの上地区へ、先人が利用していた赤道を含めたコース15kmを新設延長するもの</p>
事業の実施による効果	<p>小国地域内で完結できるコース整備をすることで、新規のエイド設定からECTへの小国地域からのファンの増加を図れるとともに小国地域の一体感の醸成を高めることができる。</p> <p>また、小国地域の得意分野であるエイドでの「おもてなし」ポイントが増加し、小国ファンのランナー増加が見込めることで都市農村交流の推進を図ることで、定住・移住に期待できる。</p>
実施スケジュール	<p>4月……コース現地踏査(芽吹かないで、見通しが利く時期)</p> <p>6月……コース延長集落説明会(農家が田植えが終わってから)</p> <p>8月……コース整備着手</p> <p>10月……先進地視察(杵形トレイル)</p> <p style="text-align: center;">プレイベント(コースお披露目大会)実施</p>
担当課・担当者	小国支所産業建設課 奈良場 勝

地域おこし協力隊について

1 地域おこし協力隊の概要

- ・大都市圏から過疎地域に生活拠点を移して地域おこし活動을しながら、定住を図る取り組み。
- ・総務省が2009年度から始め、自治体の募集経費（上限200万円）や隊員1人あたりの活動経費400万円（うち報償費200万円）などを支援する。
- ・地域おこし協力隊の参加者が、全国で平成29年度に5000人規模（前年度の2割増）となり、受入れ自治体数は約1000程度になった（全国1788自治体の約6割）。隊員の約8割が20～30代。任期はおおむね1年以上3年以下。約6割が任期終了後もその地域に定住している。

2 取り組み団体数・隊員数の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28.6	H29.9
新潟県内取組自治体数	2	2	2	4	8	10	16	18	22
新潟県(人)	7	17	23	25	46	63	92	99	140
全国(人)	89	216	413	617	978	1,511	2,625	(4,200)	(5,000)

3 小国地域の受入状況（平成29年12月1日現在）

受入団体	法末集落	(農事法人)ちやざわ生産組合
活動場所	法末地内	千谷沢地内
地域おこし協力隊員名	・勝見尚紀(かつみ たかとし) ・石曾根溪(いしぞね けい)	・吉本航(よしもと わたる)
採用年月	・平成28年11月:勝見隊員 ・平成28年12月:石曾根隊員	・平成28年11月
地域が求める活動内容	・来訪者の集落散策案内 ・地域資源を活用した事業の企画・運営 ・棚田米の直販、新規販売の開拓 ・特産品の加工・販売 ・まつりの存続と活性化 ・除雪作業や雪掘隊の支援 ・「やまびこ」の管理運営等	・お米、米粉等の販売開拓 ・インターネット活用の情報発信 ・地場特産品直売所立ち上げ、運営 ・農業の担い手として農業研修

4 地域おこし協力隊の身分等

項目	内容
採用職種	長岡市地域おこし協力隊(非常勤嘱託員)
所属	小国支所地域振興課
勤務場所	各活動団体の活動拠点および小国支所地域振興課
任用期間	平成30年3月31日まで。ただし、任用期間を最長3年まで更新することができる。
勤務時間	週30時間以内
報酬額	166,000円
休日	勤務割表によりあらかじめ示された日(勤務日は月21日程度)